

研究発表もうしこみフォーム

氏名：廣田 千恵子

氏名のローマ字表記：Hirota Chieko

所属：千葉大学大学院人文公共学府人文公共学専攻博士後期課程

専門分野：文化人類学

発表のタイトル：

モンゴル国カザフ人社会におけるフェルト敷物「サルマック」の使用法とその特徴

発表要旨（600字～800字程度）：

本発表の目的は、カザフ人がフェルトで作る敷物サルマック（сырмак）の使用法とその特徴を明らかにすることである。そのために、（1）モンゴル国のカザフ人とモンゴル人それぞれにおけるフェルトの敷物の使用状況の比較、（2）モンゴル国のカザフ人がサルマックを製作するにいたる社会的文化的背景の分析をおこなう。

サルマックとはフェルトに刺し縫いをして補強しながら作るカザフの敷物である。この敷物には必ずカザフの民族文様が装飾される。

モンゴル人もフェルトに刺し縫いをした敷物を使用する。この敷物をモンゴル語でシルデグ（ширдэг）という。シルデグにも刺し縫いをすることで文様がほどこされる。しかし、モンゴル国のモンゴル人社会においては、生活様式の変化、絨毯の製造・普及などが起因して、シルデグを日常的に製作、使用する機会は減少している。

一方で、モンゴル国バヤン・ウルギー県に居住するカザフ人は、現在でもこの敷物を防寒対策として、あるいは客人をもてなすために、ウイとよばれる伝統的家屋の床に敷いて日常的に使用する。

現地調査の結果によると、カザフ人がサルマックを盛んに製作・使用する状況には、主に以下の社会的文化的背景が影響していることが考えられる。

- ①バヤン・ウルギー県に居住するカザフ人人口の半数以上が、伝統的家屋ウイを利用する状況にある。
- ②サルマックを美しく作ることができる作り手に対する社会的な評価が高い。
- ③サルマックが現在も婚資として重要なものとして位置づけられている。
- ④モンゴル国において少数民族であるカザフ人の中では伝統的な文化を維持しようとする意識が強い。

こうした社会的文化的背景が、カザフ人社会におけるサルマックの需要を生み出し、その結果、人々はそれを意識的に使用している。また、この需要はサルマックの材料を得るために必要な牧畜技術、製作の際に求められる装飾技術の維持にも繋がっている。